



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



As-me ESTELLE

平成24年2月7日

上場会社名 As-meエステール株式会社
コード番号 7872 URL <http://www.as-estelle.co.jp>

上場取引所 大

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 雅史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 渡邊 正直

TEL 03-5777-5120

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	21,620	4.3	1,988	77.3	2,021	74.1	781	26.2
23年3月期第3四半期	20,722	1.1	1,121	121.9	1,160	138.4	619	—

(注)包括利益 24年3月期第3四半期 652百万円 (13.1%) 23年3月期第3四半期 577百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	70.06	—
23年3月期第3四半期	55.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	31,003	9,998	32.2	896.14
23年3月期	30,141	9,523	31.6	853.62

(参考)自己資本 24年3月期第3四半期 9,998百万円 23年3月期 9,523百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,688	6.0	2,537	94.6	2,624	95.8	1,096	69.2	98.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	11,459,223 株	23年3月期	11,459,223 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	302,485 株	23年3月期	302,485 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	11,156,738 株	23年3月期3Q	11,162,841 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、経営環境の変化等により、本資料の予想数値または将来に関する記述と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	2
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの回復過程にあり、企業の生産活動や消費は、企業の迅速な復旧活動や消費自粛ムードの解消などより改善が見られましたが、一方で、欧州経済の停滞や歴史的な円高により輸出企業の業績の悪化や、国内設備投資の抑制の傾向が見られ、景気先行きについては不透明感を深めました。

当社グループの当四半期における店舗展開としては、当社では12店舗を出店、8店舗を閉鎖し、当四半期末店舗数は378店舗（前年同期末379店舗）となり、メガネ小売のキンパレー(株)では5店舗を出店、5店舗を閉鎖し、40店舗（前年同期末40店舗）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は、東北・関東などの地域で既存店売上が前年を上回り、216億20百万円（前年同期比4.3%増）となりました。営業利益は、売上総利益率の改善や本部経費の削減などにより19億88百万円（同77.3%増）となりました。経常利益は、有利子負債圧縮に伴い支払利息が減少したものの海外子会社で発生した為替差損が増加し、20億21百万円（同74.1%増）となり、四半期純利益は、固定資産の減損損失の増加や法定実効税率の変更に伴う税効果の見直しによる法人税等の増加等により7億81百万円（同26.2%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

<宝飾品>

当第3四半期連結累計期間の宝飾品セグメントの売上高は、204億93百万円（前年同期比5.1%増）となり、営業利益は、19億78百万円（同84.4%増）となりました。

<眼鏡>

当第3四半期連結累計期間の眼鏡セグメントの売上高は、11億27百万円（同8.2%減）となり、営業利益は2百万円の損失（前年同期は35百万円の利益）となりました。

上記セグメントの業績の営業利益については、セグメント間取引消去前の金額を記載しております

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末の301億41百万円より8億62百万円増加し、310億3百万円となりました。これは主に、売掛金の増加12億15百万円、たな卸資産の増加1億23百万円、敷金及び保証金の減少3億11百万円及び土地の減少1億30百万円等によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末の206億17百万円より3億88百万円増加し、210億5百万円となりました。これは主に、未払法人税等の増加5億97百万円、支払手形及び買掛金の増加4億59百万円、設備支払手形の増加2億7百万円、社債の減少6億28百万円及び負ののれんの減少2億70百万円等によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末の95億23百万円より4億74百万円増加し、99億98百万円となりました。これは、四半期純利益7億81百万円と剰余金の配当1億78百万円による利益剰余金の6億3百万円の増加及びその他の包括利益累計額の1億28百万円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月13日に公表した業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,174	4,186
受取手形及び売掛金	1,808	3,023
商品及び製品	9,486	9,252
仕掛品	1,357	1,431
原材料及び貯蔵品	1,438	1,721
その他	898	908
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	19,162	20,522
固定資産		
有形固定資産	2,361	2,264
無形固定資産	402	447
投資その他の資産		
敷金及び保証金	5,274	4,962
その他	3,009	2,871
投資損失引当金	△56	△56
貸倒引当金	△12	△7
投資その他の資産合計	8,214	7,769
固定資産合計	10,978	10,481
資産合計	30,141	31,003
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,232	3,692
短期借入金	1,642	1,692
1年内返済予定の長期借入金	3,394	3,613
1年内償還予定の社債	868	590
未払法人税等	222	819
引当金	354	190
その他	1,212	1,565
流動負債合計	10,926	12,164
固定負債		
社債	580	230
長期借入金	6,169	5,932
退職給付引当金	1,282	1,328
役員退職慰労引当金	391	409
資産除去債務	39	47
負ののれん	1,015	744
その他	213	150
固定負債合計	9,690	8,841
負債合計	20,617	21,005

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,571	1,571
資本剰余金	3,384	3,384
利益剰余金	4,503	5,106
自己株式	△146	△146
株主資本合計	9,312	9,915
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	316	226
為替換算調整勘定	△105	△144
その他の包括利益累計額合計	210	82
純資産合計	9,523	9,998
負債純資産合計	30,141	31,003

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	20,722	21,620
売上原価	7,944	8,108
売上総利益	12,777	13,512
販売費及び一般管理費	11,656	11,523
営業利益	1,121	1,988
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	38	37
負ののれん償却額	270	270
その他	94	90
営業外収益合計	404	399
営業外費用		
支払利息	271	223
為替差損	52	107
その他	41	35
営業外費用合計	365	366
経常利益	1,160	2,021
特別利益		
投資有価証券売却益	1	—
固定資産売却益	0	—
受取補償金	—	2
特別利益合計	1	2
特別損失		
固定資産除売却損	40	30
店舗閉鎖損失	3	9
事務所移転費用	52	—
減損損失	87	299
投資有価証券評価損	15	12
関係会社株式評価損	—	43
関係会社出資金評価損	—	45
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	19	—
特別損失合計	219	440
税金等調整前四半期純利益	943	1,583
法人税等	324	802
少数株主損益調整前四半期純利益	619	781
四半期純利益	619	781

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	619	781
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△90
為替換算調整勘定	△43	△38
その他の包括利益合計	△42	△128
四半期包括利益	577	652
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	577	652
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
	宝飾品	眼鏡	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,494	1,227	20,722	—	20,722
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	19,494	1,227	20,722	—	20,722
セグメント利益	1,072	35	1,108	13	1,121

(注) 1. セグメント利益の調整額13百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

前第3四半期連結累計期間において、「宝飾品」セグメント及び「眼鏡」セグメントにおける店舗の設備等の固定資産について、それぞれ58百万円及び29百万円の減損損失を認識いたしました。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
	宝飾品	眼鏡	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,493	1,127	21,620	—	21,620
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	20,493	1,127	21,620	—	21,620
セグメント利益又は損失 (△)	1,978	△2	1,976	12	1,988

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額12百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結累計期間より、報告セグメントの区分方法を一部変更したことに伴い、前第3四半期連結累計期間についても、変更後の区分方法により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益の金額を表示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、「宝飾品」セグメント及び「眼鏡」セグメントにおける店舗の設備等の固定資産について、それぞれ2億58百万円及び40百万円の減損損失を認識いたしました。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。